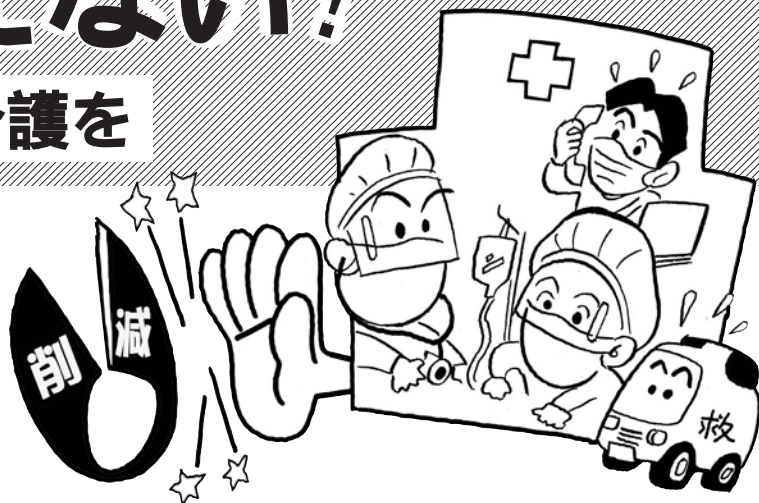
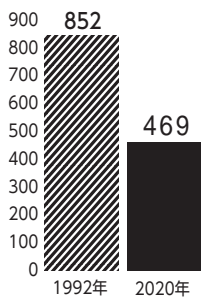


# コロナ禍の中病院・保健所 削減ありえない!

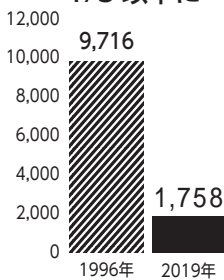
安全・安心の医療・介護を



半減した保健所

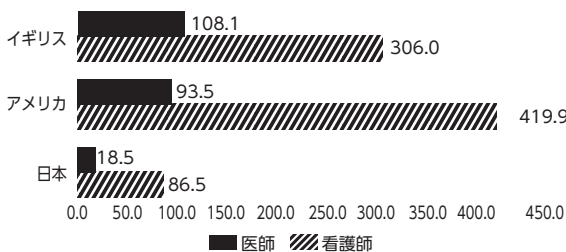


感染症病床は  
1/5 以下に



厚労省発表より作成資料

諸外国に比して極端に少ない医師・看護師  
(100床あたりの数)



OECDHealth Statistics 2016より作成

## 政府の医療・社会保障抑制が招いた コロナ禍での国民生活の危機

新型コロナウイルス感染症が広がり、国民のいのちを守る施策の拡充が政府に求められています。しかし、安倍政権の施策を引き継ぐ菅首相は国民に自助・共助を求め、「自己責任で何とかすることが基本」、「国が行うべき公助はそのあと」という姿勢を表明しています。これまでの公立・公的病院の統廃合推進の姿勢は改めず、保健所や国立感染研究所などもふくめ公務員を削減してきた公共サービスの切り捨て、医師・看護師・介護士の増員・確保施策はおざなりにされています。コロナ危機が収束する気配が見えず、今後もあらたな感染症が出現する懸念もあるなか、国に対して命を守る施策の拡充を求めていきましょう。

署名にご協力を

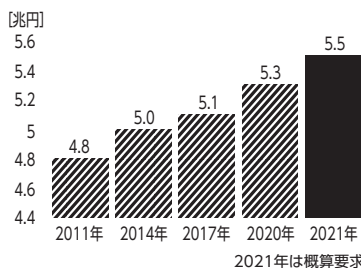
政府が  
予定する  
改悪内容

- 公立・公的病院の統廃合
- 後期高齢者医療費の窓口負担増
- 要介護者の介護保険給付外し
- 年金給付削減の実施

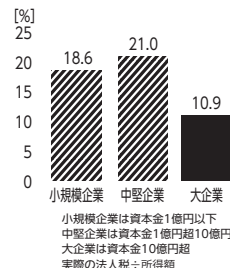
## 軍事費増大と大企業優遇政策を止め、社会保障費の拡充を

新型コロナの広がりの中で、患者や利用者の受診や利用控えによって、病院・介護施設の経営が困難になっています。また、人手不足で過重労働となる現場では、感染対策も不十分なままクラスターが発生するなど、患者・労働者のいのちの危機も。高齢者は年金が削られ、医療や介護費用の負担が増せば社会保障制度から排除されてしまいます。こうした中でも軍事費を増大させ、大企業や大金持ち減税を続けることは許されません。

伸び続ける防衛費



大企業ほど税率が低い




労働組合  
に入って

# 危機を突破！




Blank space for writing, with a vertical line on the left and a dotted line below.



Blank space for writing, with a vertical line on the left and a dotted line below.

Blank space for writing, with a vertical line on the left and a dotted line below.



ひとりの「仕方ない」から  
みんなで「変える」へ

労働組合ホットライン

☎ 0120-378-000

労働組合センター七つ森がり  
受付時間：10:00～17:00  
※状況によって受付時間等が変更される場合があります。